

# 平成29年度「県民Webアンケート」 第6回 結核に関する意識調査

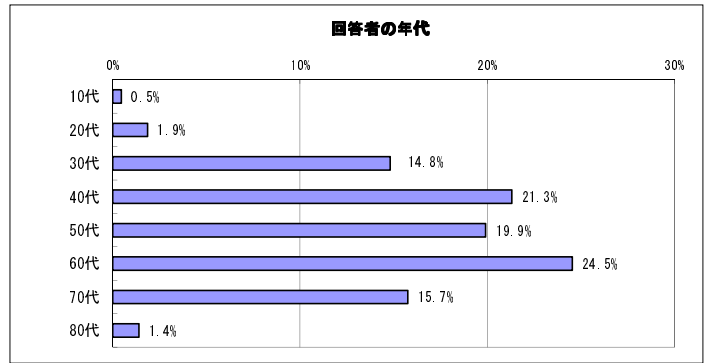
○実施期間 2017/9/14～2017/9/20

○アンケート会員数 240人 回収数 216件 (回収率 90.0%)

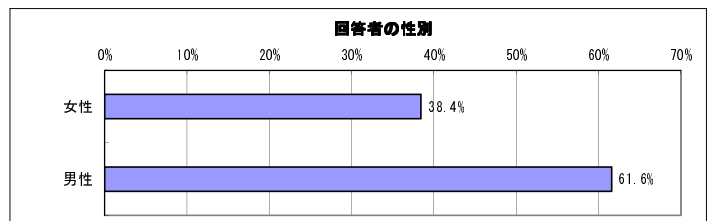
○奈良県では、2016年に191人の新登録の患者が発生しており、人口10万人に対する患者発生割合を示す結核罹患率（りかんりつ）は14.1と、全国平均13.9より高くなっています。

2020年までに結核罹患率を10以下にすることを目標に結核対策に取り組んでいるところですが、県民の皆さまの結核に関するお考えを伺い、今後の結核対策に役立てたいと思っています。

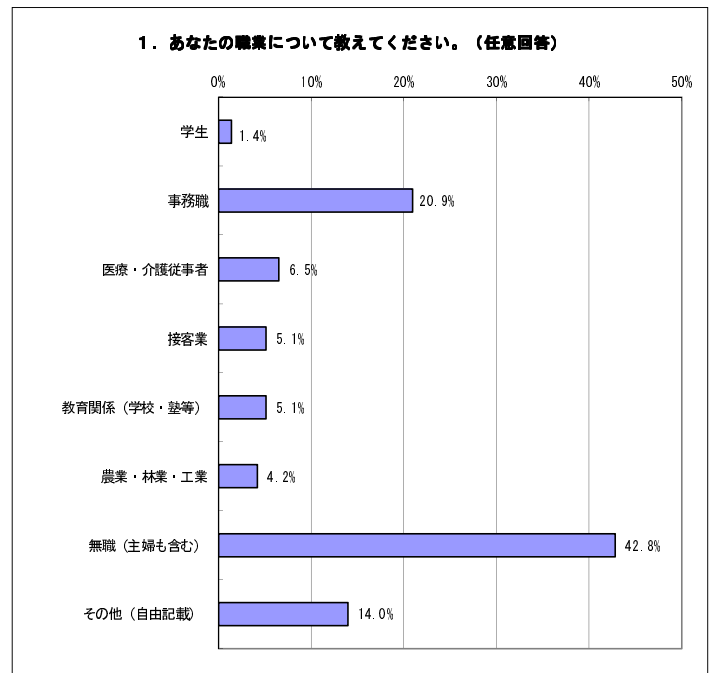
回答者の年代	回答数	比率
10代	1	0.5%
20代	4	1.9%
30代	32	14.8%
40代	46	21.3%
50代	43	19.9%
60代	53	24.5%
70代	34	15.7%
80代	3	1.4%
総計	216	100.0%



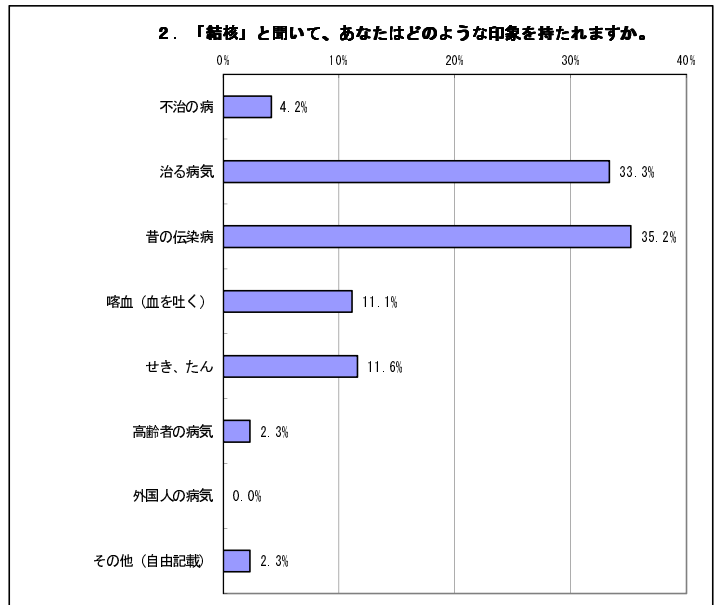
回答者の性別	回答数	比率
女性	83	38.4%
男性	133	61.6%
総計	216	100.0%



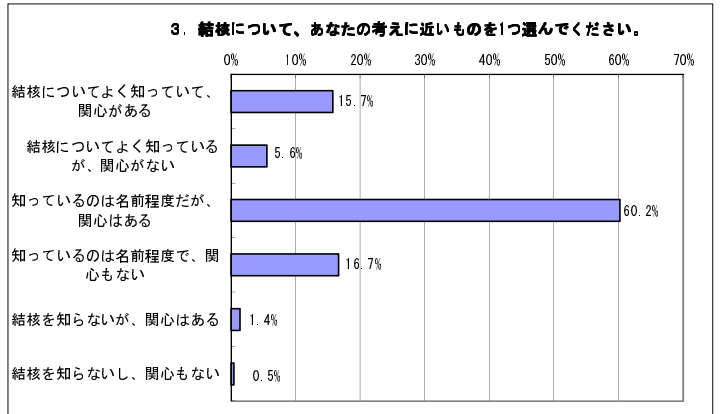
1. 結核発病の危険は高くないが、もし発病した場合に若年者や抵抗力の弱い者に結核を感染させるおそれが高いグループはティンジャーグループと言われており、学校等の教職員、医療・介護関係者、接客業者などがこれに属しています。あなたの職業について教えてください。（任意回答）	回答数	回答対象者	比率
学生	3	215	1.4%
事務職	45		20.9%
医療・介護従事者	14		6.5%
接客業	11		5.1%
教育関係（学校・塾等）	11		5.1%
農業・林業・工業	9		4.2%
無職（主婦も含む）	92		42.8%
その他（自由記載）	30		14.0%
総計	215		100.0%



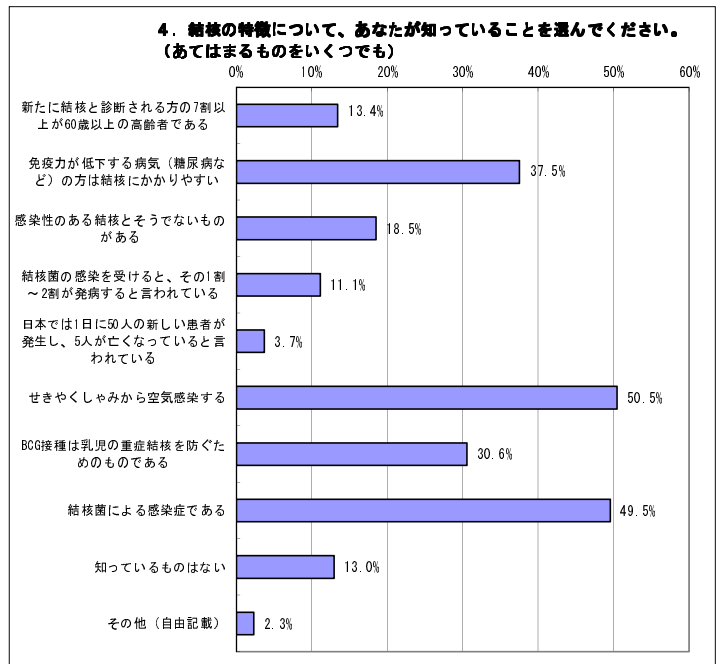
2. 「結核」と聞いて、あなたはどのような印象を持たれますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。	回答数	回答対象者	比率
不治の病	9	216	4.2%
治る病気	72		33.3%
昔の伝染病	76		35.2%
咯血（血を吐く）	24		11.1%
せき、たん	25		11.6%
高齢者の病気	5		2.3%
外国人の病気	0		0.0%
その他（自由記載）	5		2.3%
総計	216		100.0%



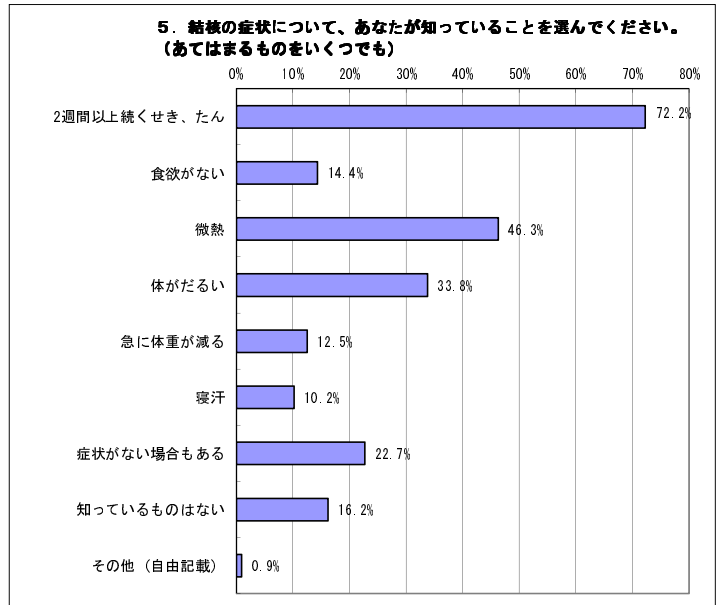
3. 結核について、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。	回答数	回答対象者	比率
結核についてよく知っていて、関心がある	34	216	15.7%
結核についてよく知っているが、関心がない	12		5.6%
知っているのは名前程度だが、関心はある	130		60.2%
知っているのは名前程度で、関心もない	36		16.7%
結核を知らないが、関心はある	3		1.4%
結核を知らないし、関心もない	1		0.5%
総計	216		100.0%



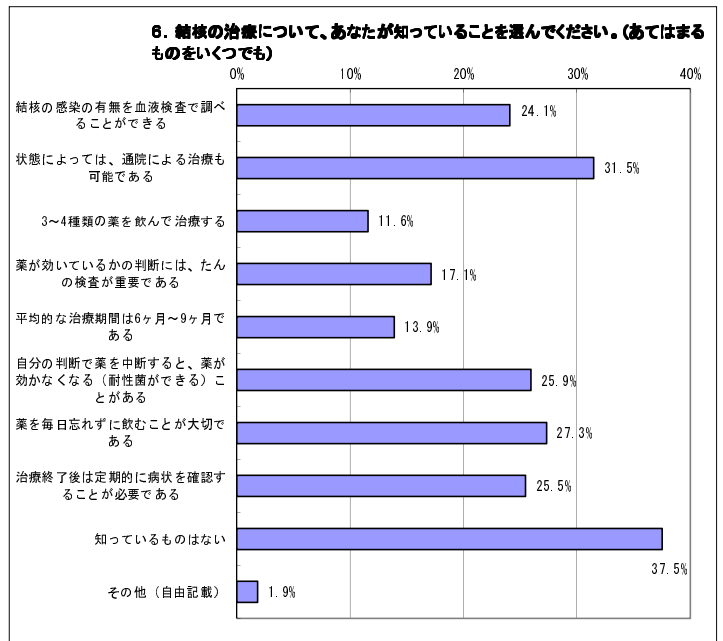
4. 結核の特徴について、あなたが知っていることを選んでください。（あてはまるものをいくつでも）	回答数	回答対象者	比率
新たに結核と診断される方の7割以上が60歳以上の高齢者である	29	216	13.4%
免疫力が低下する病気（糖尿病など）の方は結核にかかりやすい	81		37.5%
感染性のある結核とそうでないものがある	40		18.5%
結核菌の感染を受けると、その1割～2割が発病すると言われている	24		11.1%
日本では1日に50人の新しい患者が発生し、5人が亡くなっていると言われている	8		3.7%
せきやくしゃみから空気感染する	109		50.5%
BCG接種は乳児の重症結核を防ぐためのものである	66		30.6%
結核菌による感染症である	107		49.5%
知っているものはない	28		13.0%
その他（自由記載）	5		2.3%
総計	497	-	



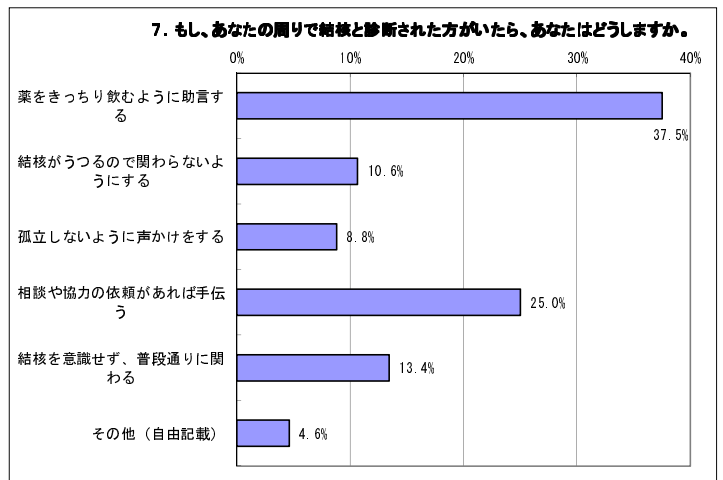
5. 結核の症状について、あなたが知っていることを選んでください。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
2週間以上続くせき、たん	156	216	72.2%
食欲がない	31		14.4%
微熱	100		46.3%
体がだるい	73		33.8%
急に体重が減る	27		12.5%
寝汗	22		10.2%
症状がない場合もある	49		22.7%
知っているものはない	35		16.2%
その他(自由記載)	2		0.9%
総計	495		-



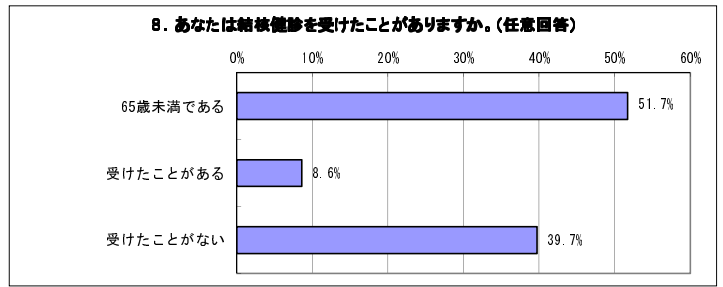
6. 結核の治療について、あなたが知っていることを選んでください。(あてはまるものをいくつでも)	回答数	回答対象者	比率
結核の感染の有無を血液検査で調べることができる	52	216	24.1%
状態によっては、通院による治療も可能である	68		31.5%
3~4種類の薬を飲んで治療する	25		11.6%
薬が効いているかの判断には、たんの検査が重要である	37		17.1%
平均的な治療期間は6ヶ月~9ヶ月である	30		13.9%
自分の判断で薬を中断すると、薬が効かなくなる(耐性菌ができる)ことがある	56		25.9%
薬を毎日忘れずに飲むことが大切である	59		27.3%
治療終了後は定期的に病状を確認することが必要である	55		25.5%
知っているものはない	81		37.5%
その他(自由記載)	4		1.9%
総計	467	-	



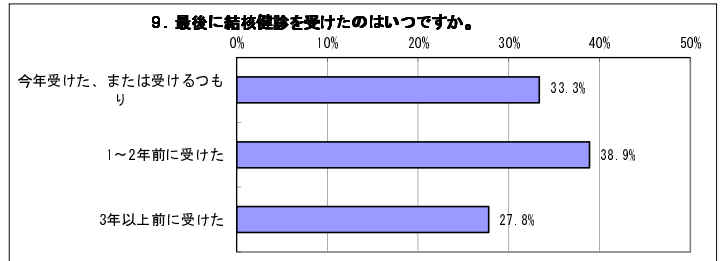
7. もし、あなたの周りで結核と診断された方がいたら、あなたはどうしますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。	回答数	回答対象者	比率
薬をきっちり飲むように助言する	81	216	37.5%
結核がうつるので関わらないようにする	23		10.6%
孤立しないように声をかける	19		8.8%
相談や協力の依頼があれば手伝う	54		25.0%
結核を意識せず、普段通りに関わる	29		13.4%
その他(自由記載)	10		4.6%
総計	216		100.0%



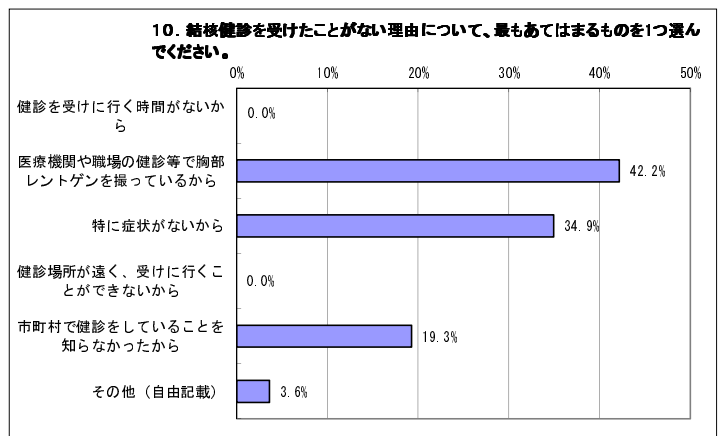
8. 65歳以上の方は、お住まいの市町村で結核健診を受けることができます。あなたは結核健診を受けたことがありますか。(任意回答) ※感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下「感染症法」)第53条の2の規定により市町村長は結核健診の実施を定められています。 一この設問(Q8)で「2. 受けたことがある」を選択された方はQ9へ、「3. 受けたことがない」を選択された方はQ10へ、それ以外を選択された方はQ11へ	回答数	回答対象者	比率
65歳未満である	108	209	51.7%
受けたことがある	18		8.6%
受けたことがない	83		39.7%
総計	209		100.0%



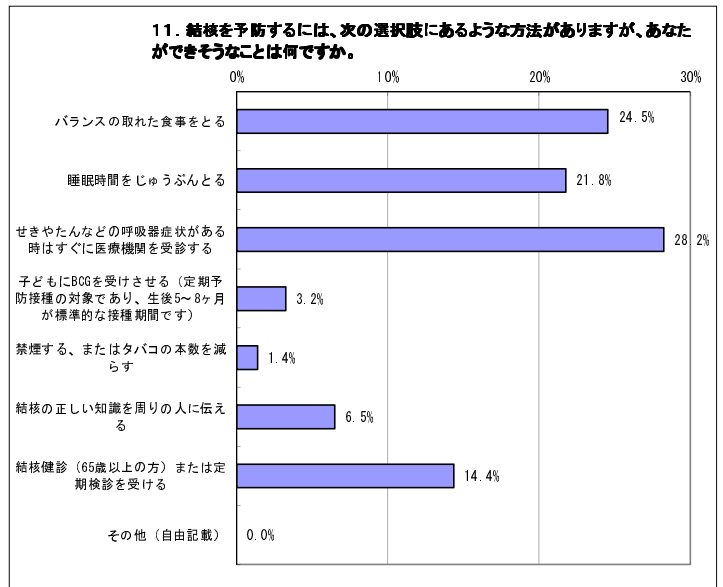
9. Q8で「2. 受けたことがある」を選択された方にお聞きします。 最後に結核健診を受けたのはいつですか。 一この設問(Q9)を回答された方はQ11へ	回答数	回答対象者	比率
今年受けた、または受けるつもり	6	18	33.3%
1~2年前に受けた	7		38.9%
3年以上前に受けた	5		27.8%
総計	18		100.0%



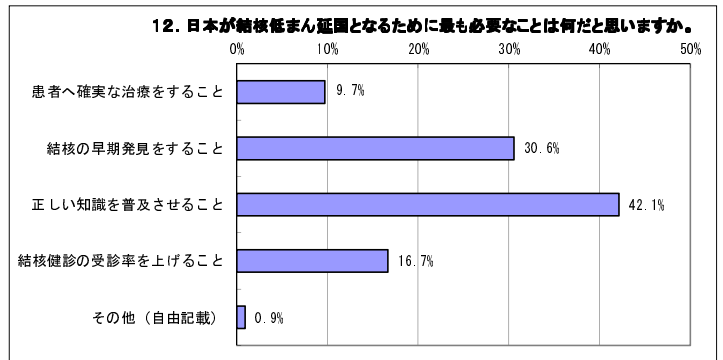
10. Q8で、「3. 受けたことがない」を選ばれた方にお聞きします。 結核健診を受けたことがない理由について、最もあてはまるものを1つ選んでください。	回答数	回答対象者	比率
健診を受けに行く時間がないから	0	83	0.0%
医療機関や職場の健診等で胸部レントゲンを撮っているから	35		42.2%
特に症状がないから	29		34.9%
健診場所が遠く、受けに行くことができないから	0		0.0%
市町村で健診をしていることを知らなかったから	16		19.3%
その他(自由記載)	3		3.6%
総計	83		100.0%



11. 9月24日~30日は結核予防週間です。結核を予防するには、次の選択肢にあるような方法がありますが、あなたができそうなことは何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。	回答数	回答対象者	比率
バランスの取れた食事をとる	53	216	24.5%
睡眠時間をじゅうぶんとる	47		21.8%
せきやたんなどの呼吸器症状がある時はすぐに医療機関を受診する	61		28.2%
子どもにBCGを受けさせる(定期予防接種の対象であり、生後5~8ヶ月が標準的な接種期間です)	7		3.2%
禁煙する、またはタバコの本数を減らす	3		1.4%
結核の正しい知識を周りの人に伝える	14		6.5%
結核健診(65歳以上の方)または定期検診を受ける	31		14.4%
その他(自由記載)	0		0.0%
総計	216		100.0%



12. 結核罹患率が10を切ると結核低まん延国であるとされていますが、日本は結核罹患率13.9(H28年)と、先進国のなかでは高い状況です。日本が結核低まん延国となるために最も必要なことは何だと思えますか。 ※結核罹患率…1年のうち結核を発病した患者を人口10万人あたりで表した数	回答数	回答対象者	比率
患者へ確実な治療をすること	21	216	9.7%
結核の早期発見をすること	66		30.6%
正しい知識を普及させること	91		42.1%
結核健診の受診率を上げること	36		16.7%
その他（自由記載）	2		0.9%
総計	216		100.0%



13. 奈良県の結核罹患率は、14.1(H28年)であり、全国平均よりも高い状況です（H27年結核罹患率は全国ワースト5でした）。これを受けて、奈良県の結核対策についてご意見があればお聞かせください。（任意回答）	回答数	回答対象者	比率
ご意見等	71	-	-

（一部抜粋）

結核の症状や治療法、治療期間、服薬方法など、知らないことが多いので、過大な反応をしまったり、逆に軽く考えてしまったり、定期健診などを受けなかったりするのが罹患率を高くしている要因だと思います。やはり、結核についての広報活動をもっと積極的に行うべきだと思います。

奈良県の結核罹患率が高いということは知りませんでした。私自身もなぜか罹患しない、という根拠のない自信があります。今一度、広報紙等で積極的に結核検診を受けるように、広報すべきだと思います。

私が行っているかかりつけの病院では、咳が続くと結核の可能性を考え、レントゲンを撮ります。そういう経験をして初めて、自分にも結核に罹患する可能性や危険があることを実感しました。

昔の病気・高齢者が罹患する病気だと思って、咳が続いても受診しない人が多いと思うので、誰もが罹患する可能性があること、注意すべき症状、治療法等を周知することが大切だと感じます。

また、罹患した人が高齢だったり自己管理が難しかったりする場合に、治療が中途半端にならないよう徹底してほしいです。